



12月19日（火）

国連開発計画（UNDP）独立評価ディレクターのインドラン・ナイドゥ博士が本学園に来校されました。

寺田理事長は、教育センターの計野所長、高松副所長とともに、教育センターと小学校を案内して、学園の教育理念と現在の取り組み、教育センターの活動を説明し、あわせて近年増加しているアジアや中近東からの視察や見学者についてお伝えしました。



教員の経験もお持ちのナイドゥ博士は、「このような考え方のもと自閉症教育を実践し実績をあげている機関があるとは初めて知り目の覚める思いをしました。国連に戻りましたら、今回の訪問で得たものをユネスコと情報共有するとともに国連のウェブサイトに掲載すべく広報にも伝えます。」とのことばを残し学園を後にされました。

